



とうかい

第 21 号

公立学校
共済組合 **東海中央病院**

◆基本理念◆

「最高の誠意」「最善の医療」

◆基本方針◆

- (1) 患者さま尊重の医療
- (2) 診療機能の向上
- (3) 健全経営の維持

PEGについて

内 科 三村 俊哉

PEGとは、Percutaneous（経皮）Endoscopic（内視鏡的）Gastrostomy（胃瘻造設術）の頭文字をとった略語です。口から食べたり飲んだりできない人や、栄養を補う必要のある人のために、腹壁と胃壁を貫通する穴を、胃カメラを使って造る手術のことです。

腹壁と胃壁を貫通する穴をあけた後は、その穴がふさがらない様にピアスの様な器具をそこに通しておいて、そこから流動食を投与します。

PEGは、1979年アメリカで、外科医Ponskyと小児科医Gaudererらにより初めて行われました。当初は神経疾患による嚥下機能（飲み込む事の）障害の小児が対象でしたが、次第に世間に普及し、現在では脳卒中や認知症などによる嚥下機能障害を有する高齢者の方に対して広く行われています。

高齢になると歯が無くなったり、唾液の分泌が悪くなったり、あごの力が弱くなったり、飲み込みの力が衰えたりします。このような加齢による変化はすべて物を食べたり飲んだりするのに障害となります。で

もこのような加齢障害の大半は、入れ歯の調整をしたり、食材を細かく刻んだり、よく煮たりなどの調理方法の工夫でなんとかカバーできることが多いです。

しかし、上記のような努力を行ったとしても、生命を維持する為に必要な水分と栄養を経口的に摂取できない方は、特に脳梗塞や脳出血といった脳血管障害の後遺症の患者さんで非常に多くみえます。

そのような方々に生命維持に必要な水分と栄養を投与する方法として、鼻の穴を通して胃の中にいれた細いチューブから流動食を流す方法や、中心静脈栄養といって心臓の近くの太い血管より濃厚な栄養点滴を持続的に投与する方法が従来行われておりました。それらの方法に共通して言える欠点は、手間がかかるうえに医療施設以外で行う事が困難である事です。そのため高額入院費がかかり、医療経済を圧迫することにもなります。

近年、それらに替わる方法として、扱い方が簡単なので自宅や老人介護施設でも使用が可能なPEGが急激に普及しています。しかし、PEGにも欠点はあり、体力の衰

えた高齢者の方に行く事が多いので、造った直後の合併症の発生頻度が高い事があげられます。

嚥下機能障害を有する方は、御自身での判断や意思の表明が困難な場合がほとんど

である為、PEGは代理人のご家族の方の意向に沿って行われる事が多いです。

胃に穴をあけるなんて絶対に嫌だという方は、その意思を日頃より表明しておくとういかに思います。

“医療ソーシャルワーカー”って何をするの？

ソーシャルワーカー

須川 友弘

小里 紗絵香

普段患者様やご家族の方々と接する際に、「ソーシャルワーカーの〇〇と申します。」と自己紹介をしますと、どのようなことを仕事としているのか？と問われることも少なくありません。

ソーシャルワーカーとは、専門的な社会福祉の知識、技術を持ち援助を行う人の総称です。その中でも特に保健医療機関で働く人のことを、医療ソーシャルワーカーと呼びます。

もし自分が、あるいはご家族が入院しなければならなくなった場合、まず医療費の支払いが発生します。入院が長期となれば生活費の問題も出てくるかもしれません。また入院することで、自宅に残した子どもや介護を必要とする親の面倒は誰が看るのかなど…、様々な問題が出てくるのではないのでしょうか。そのような生活問題と医療は切り離せない関係にあります。病気や障害によって起こる生活上の問題を、社会福祉の立場から援助を行うことが私たちの仕事です。不安や悩みを取り除くことで、治

療に専念していただくことを目指しております。

最初にソーシャルワーカーについて大まかに述べましたが、具体的には医療保険や年金などの社会保険制度や高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉など社会保障制度全般に通じ、制度そのものの情報提供も行っております。退院後のこと、職場への復帰、金銭的な問題、療養中の問題など、入院・入院外を問わず、院内外の関係職種と連携を図りながらご相談に応じています。

ご相談の中には、急性期医療を終え今後の方向性（退院・転院）についてのご相談が多くあります。当院は急性期病院の機能を活かし、ソーシャルワーカーとしては、



患者さまの状態に合わせた方向性を患者さま・ご家族と共に検討しながら、退院の援助を行っております。退院に際しては、ご家族の不安も大きいかと思いますが、療養先の調整など準備が必要となりますので、早めにご相談していただく事をお勧めします。当院には2人のソーシャルワーカーが配置されております。日々患者様やご家族の問題に取り組むその力に支えられています。ソーシャルワーカーへのご相談はソー

シャルワーカー室（図参照）に直接来室いただいてもよろしいですし、まずはお電話（0583-82-3101 代表）でもけっこうです。どこに尋ねたら良いのかも分からない、そのようなこともまずはお気軽にご相談下さい。もちろん皆様の個人情報を守られ、料金も必要ありません。ソーシャルワーカー室が皆様に少しでも安心していただける場所になることを目指し、尽力してまいります。

ソーシャルワーカー室の位置図



患者さまアンケートご協力ありがとうございました。

10月25日火曜日に患者さまアンケートをさせていただきました。
貴重なご意見を多数いただき、まことにありがとうございます。
今後の病院運営に役立たせていただきます。

当院では、アンケートとは別に、院内の各所にご意見箱を設置しております。今後とも患者さまの貴重なご意見をお聞かせください。

ベビーマッサージ開設のご案内

2005年10月よりベビーマッサージ開設

ベビーマッサージってなに？

ベビーマッサージはママと赤ちゃんのすこやかな心と体を育むふれあいのことです。

ママが赤ちゃんに触れ、話しかけてあげることで、赤ちゃんの成長・発達がうながされ、ママも育児に自信がもてるようになるといわれています。

ベビーマッサージを行って、楽しく赤ちゃんに触れ合いませんか？

◎開設日時：月に2回 金曜日
14時から15時までの1時間程度

◎場所：小会議室

◎料金：1,000円

◎予約方法：予約センターにて予約してください

◎対象者：ママと生後1ヶ月から1歳までの赤ちゃん。
パパの参加も大歓迎です。
1回につき6組までとさせていただきます。

◎必要なもの：バスタオル1枚、オムツ2・3枚、白湯（さゆ）
またはミルクなどの水分補給になるもの。ママは動きやすい服装でオイルがついてもよいもの（パンツスタイルがお勧め）

☆2006年より

◎開設日時：月に2回 金曜日
①14時～15時 ②15時30分～16時30分まで
「ねんねコース」と「はいはいコース」に分けて開催

◎料金：当院分娩者：1,000円 他院分娩者：1,500円

◎初診・再診受付時間▶ 8:30～11:30

◎毎週土・日曜日祭日全科休診

保険証等の提示

お願い 月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口
に提示してください。



とうかい

発行：〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
公立学校共済組合 東海中央病院
電話 (0583) 82-3101 / FAX (0583) 82-1762
発行人：病院長 間野 忠明 発行：年4回